

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391600158
事業所名	グループホームあいか

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	地域の祭りや敬老会、清掃等、地域行事への積極的な参加がある。反面、ホームイベントへの地域住民の参加がないことが運営推進会議で討議され、町内で発行されている「御前場新聞」で広報することとなった。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	運営推進会議では、参加者から積極的に質問や提案がある。「せっかく集まるのだから、もっと内容の濃いものに・・・」、「2ヶ月に1度開催する必要があるのか?」、「地域行事には参加しているのか?」、「朝食のセレクトメニューのパンに、菓子パンを加えてはどうか?」等々である。課題が残れば、次回までの検討課題として継続して討議している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	担当するいきいき支援センターの職員が、ほぼ毎回運営推進会議に出席し、行政の立場で意見を表している。行政の担当者とも良好な関係を築いて困難事例等へのアドバイスをもらっており、利用者の相続問題や成年後見人についても貴重な助言を得ている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族のホーム訪問は頻回で、週に3日来訪している家族もいる。来訪時に意見・要望を聞き取っており、運営推進会議でも積極的な発言がある。利用者の高齢化・重度化によって、職員だけではこれまで通りの支援が難しくなってきた。バス旅行等の大規模行事には、家族に参加を呼び掛ける方針である。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	—	—	○	○	○	○	○	◎			